平成22年度事務事業評価表（平成21年度振り返り）

政策名	快適な都市環境が整ったまち

施策番号・名	25	防犯対策の充実

基本事業番号・名	25-01	防犯対策の連携・促進

事務事業番号	所管課係名 事務事業名		事務事業の目的 （事務事業の対象、手段、意図）	対象指標 （対象の数値指標化） 指標	実績値 （単位）	活動指標 （手段の数値指標化） 指標	実績値 （単位）	成果指標 （意図したことの結果の数値指標化） 指標	実績値 （単位）	事業費 （実績額） ① （千円）	人件費 （理論値） ② （千円）	トータルコスト ①＋② （千円）	改革・改善の余地 （目的妥当性・効率性・有効性・公平性から）	改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 （所管課長記入欄）
25-02-01	施設管理課 道路河川施設担当	対象	防犯灯・装飾灯を所有管理している自治会・管理組合	補助金を申請してきた自治会・管理組合の数	平成21年度 49 （団体）	補助金請求回数	平成21年度 2 （回）	補助金の対象となる防犯灯の数	平成21年度 3,196 （灯）	8,552	271	8,823	選択項目：説明（選択理由） 22年度以降に向けた方向性：現状維持 改善の余地：□ あり ■ なし 防犯灯を管理している自治会、管理組合に電気料金を補助している。市域から犯罪を起こさせない環境を整えるため、防犯灯は必要不可欠であり、事務事業としては、存続する必要がある。	選択項目：説明（選択理由） 所管課長名：施設管理課　古澤毅彦 23年度以降に向けた方向性：アウトソーシング 安全で安心して暮らすことのできる街づくりを目指し、犯罪の防止を図る上でも重要な施設であり継続する必要はあるが、事務的業務であるため、外部委託の方法を目指す。
	防犯灯等維持管理支援事業	手段	自治会・管理組合所有の防犯灯・装飾灯の維持管理費に対する補助金交付事業。自治会・管理組合及び装飾灯を所有する団体に申請様式一式を送付。申請期間中に申請を受け、必要書類内容を確認し不足は持参指示		平成20年度 53 （団体）		平成20年度 2 （回）		平成20年度 3,225 （灯）	7,937	266	8,203		
		意図	所有している防犯灯等を適正に管理してもらう。		平成19年度 53 （団体）		平成19年度 2 （回）		平成19年度 3,068 （灯）	7,319	265	7,584		
25-02-02	施設管理課 道路河川施設担当	対象	市道と一定規模以上の私道	市道と一定規模以上の私道（市道延長）	平成21年度 228,298 （m）	防犯灯新設数	平成21年度 45 （灯）	防犯灯設置要望対応率	平成21年度 86 （%）	0	1,413	1,413	選択項目：説明（選択理由） 22年度以降に向けた方向性：現状維持 改善の余地：□ あり ■ なし 市道並びに一定規模以上の私道利用者が安全に通行するため、防犯灯の新設が必要であり、事務事業としては、存続する必要がある。	選択項目：説明（選択理由） 所管課長名：施設管理課　古澤毅彦 23年度以降に向けた方向性：現状維持 設置箇所の見直しや熱効率の良い器具等を使用することにより経費の節減を図る。事務的な処理については、外部委託を行い、設置の可否については市の事務として存続する必要がある。
	防犯灯整備事業	手段	市民からの要望等による防犯灯新設にかかる現場調査。業者との契約により発注（新設の取りまとめ）工事終了後業者が請求書を提出し支払う		平成20年度 228,070 （m）		平成20年度 45 （灯）		平成20年度 92 （%）	0	1,385	1,385		
		意図	暗がりをなくす		平成19年度 227,521 （m）		平成19年度 47 （灯）		平成19年度 90 （%）	0	1,381	1,381		
25-02-03	施設管理課 道路河川施設担当	対象	市内道路を通行する人々及び設置個所付近の市内居住者	市民人口（市内道路通行者は不特定多数のため数値化困難）	平成21年度 114,807 （人）	防犯灯修繕数	平成21年度 2,159 （灯）	防犯灯修繕数	平成21年度 2,159 （灯）	59,657	6,253	65,910	選択項目：説明（選択理由） 22年度以降に向けた方向性：現状維持 改善の余地：□ あり ■ なし 市民からの通報により老朽化した防犯灯の修繕（照明切れ）等並びに電気料は増加傾向にあり、事務事業としては、存続する必要がある。	選択項目：説明（選択理由） 所管課長名：施設管理課　古澤毅彦 23年度以降に向けた方向性：アウトソーシング 老朽化した施設の改築を行うことは、必要な事業であり効率性の良い器具の利用など節減の方法を検討しながら維持的業務であるため、外部委託の方法を目指す。
	防犯灯等維持管理事業	手段	通報等で得た情報から、防犯灯修繕が必要な現場の調査後、修繕分を取りまとめ業者との契約により発注。工事終了後業者に請求を催促し支払う。その他光熱水費を支払う。		平成20年度 114,418 （人）		平成20年度 1,973 （灯）		平成20年度 1,973 （灯）	67,067	6,127	73,194		
		意図	犯罪等に巻き込まれない安全な道路通行をできるようにする。		平成19年度 114,376 （人）		平成19年度 1,967 （灯）		平成19年度 1,967 （灯）	60,059	6,110	66,169		
25-02-04	子育て支援課 子育て支援係	対象	地域社会	かけこみハウス協力世帯数	平成21年度 2,400 （件）	実施委員会等会議開催件数	平成21年度 11 （件）	事件０	平成21年度 0 （件）	300	2,021	2,321	選択項目：説明（選択理由） 22年度以降に向けた方向性：現状維持 改善の余地：□ あり ■ なし 市民のボランティア活動にお願いする部分がおおきい。	選択項目：説明（選択理由） 所管課長名：子育て支援課　宮崎守道 23年度以降に向けた方向性：現状維持 事業自体が各中学校地区青少協実行年委員で運営していることから、青少年問題協議会に諮問等をして検証していく必要がある。
	かけこみハウス事業	手段	①各中学校地区実施委員会の開催 ②看板・ステッカーの作成配布 ③かけこみハウス実施委員会会長連絡会の開催		平成20年度 2,418 （件）		平成20年度 11 （件）		平成20年度 0 （件）	300	2,021	2,321		
		意図	児童・生徒が痴漢や不審者等から危険を感じたときに一時的に保護し、家庭や学校等に連絡をとる「かけこみハウス」協力家庭を推進する。		平成19年度 2,500 （件）		平成19年度 12 （件）		平成19年度 0 （件）	312	2,021	2,333		